

災害名	普賢岳噴火・地震（島原大變肥後迷惑）	災害年月日	1792年（寛政4年）5月21日
主な被災地	長崎県、熊本県	災害の種類	火山災害・地震・津波

▲南島原市西有家町の 供養塔

▲熊本市河内町船津の 津波境石と津波教訓碑

▲宇城市三角町大田尾の 津波境石

凡例
▲：石碑等関連史跡

画像出典：国土地理院

マグニチュード

6.4

死者

約15,000人（全体）

災害の概要

雲仙岳：前年10月から始まった地震が11月10日頃から強くなり、山崩れなどでたびたび被害があった。4月1日に大地震が2回あり、眉山（当時前山）の東部が大崩壊し、崩土約0.34km³が有明海に流れ込み大津波が発生した。対岸の肥後でも被害が多く、「島原大變肥後迷惑」と呼ばれた。

この半年前から地震が発生しはじめ、小浜（半島西部）で山崩れにより死者2人の被害が出たほか、3ヶ月前には普賢岳付近で噴火、さらに2ヶ月前には穴迫谷から噴火があり、それらに伴い時々地震が発生した。1ヶ月前より地震が頻発しはじめ、死者2人や壊家などの被害がでていた。そこにM6.4の地震があり、眉山崩壊、大津波発生という大災害を引き起こした。

震害としては、島原城の瓦や塀などに小被害が出た程度であったが、大津波は島原のみならず対岸の肥後や天草にも及んだ。津波は3回起こり、高さは島原で33～55m、天草で5～45m、死者は島原で1万人弱、肥後で5千人弱、天草で300人余に及び、壊家と流出家屋が12,000戸以上と最悪の被害となった。

防災対策

○公共

- ・ 島原市防災避難マップ（島原市）
<http://www.city.shimabara.lg.jp/page2962.html>
- ・ 雲仙市地区別避難場所一覧（雲仙市）
https://www.city.unzen.nagasaki.jp/bousai/ki_ji0035389/index.html
- ・ 玉名市地域防災計画書（玉名市）
<https://www.city.tamana.lg.jp/q/list/103.html>

地震・津波

風水害

土砂災害

高潮

火山災害

その他

防災対策

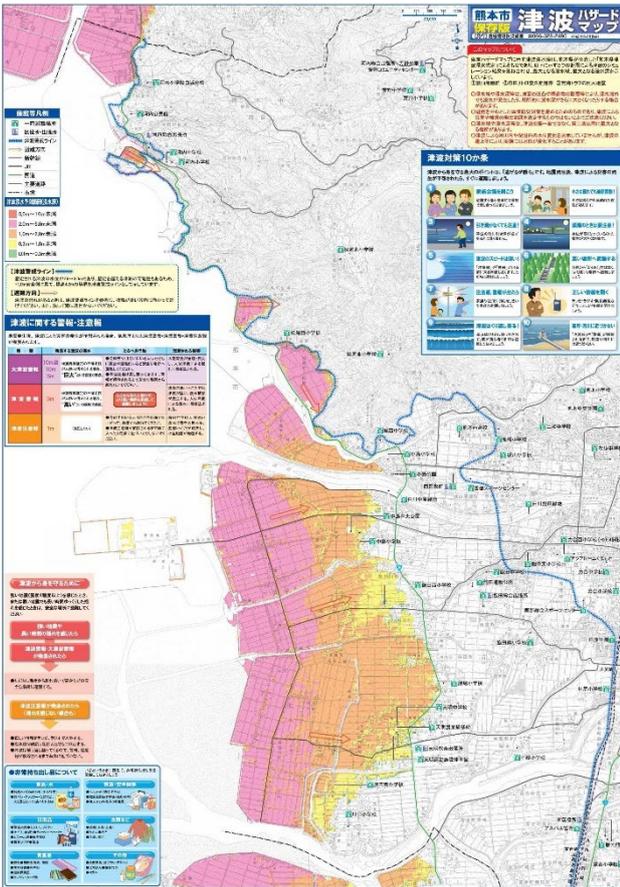
○大津波の教訓を伝える石碑（熊本市）



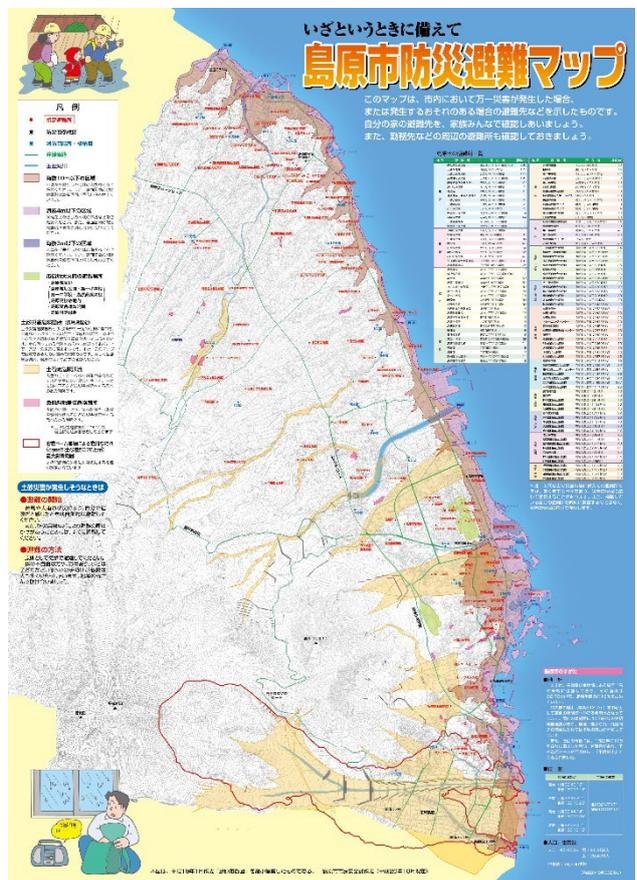
▲写真左端の石碑が津波教訓碑
(熊本市河内町船津)

熊本市河内町（旧河内村、白浜村、船津村）では寛政大津波により約500人が死亡したとされ、船津厳島神社近くにある「教訓碑」の碑文には「後世に同じような津波が襲ったときは、すべてに優先し、高齢者や幼児を連れて直ちに避難しなければならない。迷わないように普段から逃げ道を確かめておくべきだ」と記されている。(碑文解説：肥後金石研究会)

○津波ハザードマップ（熊本市）



○島原市防災避難マップ（島原市）



資料 社会資本 状況写真 絵画 文献 その他

○社会資本整備



▲横島山山麓にある津波避難案内板
画像出典：九州農政局 玉名横島海岸保全事業所

○絵画



▲大津波の様子をかいた絵図
(東京大学地震研究所蔵)

画像出典：「普賢さんとわたしたち」
国土交通省 九州地方整備局 雲仙砂防管理センター



▲寛政四年大震図(島原市・本光寺
画像出典：国土交通省(蔵)九州地方整備局 雲仙砂防管理センター

○参考文献

- ・「理科年表H28年版」国立天文台編（2015年発行）
- ・「日本歴史災害辞典」吉川弘文館（2012年発行）
- ・「日本の自然災害500～1995年」日本専門図書出版（2010年発行）
- ・「熊本県災害史年表553～1997」熊本県消防学校（1999年発行）
- ・「地震・津波と災害」福岡管区气象台（1991年発行）
- ・「福岡の気象百年」福岡管区气象台編刊（1990年発行）
- ・「熊本県の気象百年」熊本地方气象台（1990年発行）
- ・「九州の災害史」三浦幸一郎著刊（1987年発行）

○参考サイト

- ・島原大変記（雲仙砂防管理センター）
<http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/sabo/omake/taihenki.html>
- ・「普賢さんとわたしたち」（雲仙砂防管理センター）
<https://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/sabo/prevention/education3.html>

地震・津波

風水害

土砂災害

高潮

火山災害

その他